

## (公社)日本給食サービス協会会長賞

『給食ありがとう』

京都府京都市立新町小学校 五年二組 女子 小菅 麻友

私の好きな給食は、卵スープにカレー・大根葉のごまいため・ヒレカツなどたくさんありますが、大人になった時に、「一番心に残っている給食は何ですか。」ときかれたら「おはぎです。」と答えると思います。なぜかというと、給食のおはぎのおかげで、色々な和菓子が大好きになり、食のばが広がったからです。

去年の給食でおはぎを食べるまでは、あんこが苦手であまり和菓子を食べたことがありませんでした。おはぎが給食でた日のことです。私は、おはぎを目の前にして、「給食は残せないなあ。」と、しばらくはらめっこをしていました。数分後、思い切って一口バツッと食べてみると、「あれ、おいしい。」もう一口、もう一口、「あーあ、もうなくなっちゃった。」と、とても残念に思ったのでした。

給食では、私のように苦手だと思っていたものを食べる機会になり、そして、食べられるようになったりします。また、シチューの中に星形のにんじん(ハッピーキャロット)のしかけがあったり、自分達でごはんをおかずを混ぜてのりで巻いて食べたり、パンにおかずをはさんで食べたりと色々な楽しみがあります。他にも、行ったことのない色々な外国の料理も食べられます。行事こん立や地産地消こん立もあり、行事食や私たちの身近でとれる食材を通じて、日本の年中行事や京都の歴史・文化に興味を持つきっかけにもなりました。

平成二十五年に「和食」が、ユネスコ無形文化遺産に登録され、日本人の主食であるお米が見直されているように思います。和食にあう調味料(お酢やみりん、みそなど)は、お米があつてこそつくることができます。また、お米はたいたり、ひいたりしてさまざまなものに形を変えることもできます。私たち日本人が昔から食べてきたお米(和食)には、日本人の心が表わされていると思います。

給食にも和こん立があるようになりました。私は、給食委員として、給食にでてくる行事食やお米のパワーのすごさ、野菜ぎらいの子が多いと思うので、京野菜の歴史なども紹介して興味を持ってもらい、身近に感じてもらえるようポスターなどを使って伝えていきたいと思っています。

最後に、私たちの健康のことを考えて、毎日おいしい給食を作って下さっている給食調理員のみなさんに感謝したいと思います。